



「新庄市駅前ふれあい広場(アビエス)」は、出会い・ふれあい・フェスティバルをテーマに交流空間の整備を進めたもので、愛称となっているアビエスとは、ラテン語で市の木にも指定されているモミを意味している。

広場の中央にはモニュメントとして噴水が設けられ、水と音と光が調和する演出が施され、路面には新庄まつりに登場する山車がモザイクタイルで描かれている。周囲は未来に飛躍するシンボルツリーの大きなモミの木が植えられ、広場に通じる長いアプローチは線から面へと広がる空間変化をデザインしている。

また、広場にはパーゴラやスタンドを設置し、祭りやイベントなどをはじめ、誰もが自由に企画し開催できるスペースとして幅広い利用がなされている。

## DATA・BOARD 67

- ①山形県新庄市多門町1146-4
- ②面積：7,159㎡
- ③イベント広場、観覧スタンド、パーゴラ、噴水、駐車場、駐輪場
- ④木レンガ、小舗石、レッドウッド材、植栽ほか
- ⑤新庄まつり、地域のイベント会場



67

## 新庄駅前ふれあい広場(愛称 アビエス)

● コミュニティ部門